**12月2日　タイジ株式会社　代表取締役社長　堀江　裕明　氏**

**問1　学んだこと、印象に残った言葉・エピソード・メッセージなど**

「日本のおもてなしの文化を世界に～差別化を戦略に～」ということで、貴社の起業の実話をもとにお話いただきました。日本企業を発展させるためには海外進出が必要不可欠であり、今の世の中、国際的な人材がより求められていることが分かりました。成熟市場での差別化戦略としてのマーケティングの重要性を示す実例が詳しくわかり、今の市場は成熟市場から急激に衰退市場へと変化していて、また、その市場への対応は成熟市場とは異なり、直接貿易をしたり世界の壁への挑戦せざるを得ないこと、そして日本のおもてなしの文化を広げることを世界市場への戦略としていることがわかりました。（理工・建築１年）

まず、四角い保温庫（おしぼり）をつくったのがタイジ株式会社であると聞き驚き、このおしぼり保温庫が開発されたきっかけが、お客様の「おしぼりなら良い感じに温まる」という一言だったと知り衝撃でした。おしぼりは日本ならではの“おもてなし”を代表するものですが、現代では紙のおしぼりが多く、今、生まれた幼い子供たちが大きくなった時、タオル素材のおしぼりは無くなっているかもしれないと思うと何だか寂しくなりました。日本のホスピタリティーは世界に誇れることだと思います。海外のスーパーで日本食の物が売っていたのを見たことがあります。高いのに購入している人が沢山いるのは、それだけ信頼されているからだろうと思いました。レストランでも、おしぼりやお水がすぐに出てきたり、お店からお客様が出ていく時に見えなくなるまで頭を下げ続ける店員の方の姿は日本でしか見ることはないと思います。私たちが素晴らしいサービスを受けられるのは、細部にまで気を遣った思いやりがあるからだと実感しました。（教育人間人文1年）

会社の当時の様子をエピソードに照らし合わせて話されていて大変興味がわきました。

サーカスの象の話、酒だるの話、石切職人の話、そしてゆで蛙の話、これらの例え話は知っていると使えるし説得力がアップすると思うので今回、聞けたことをたいへん嬉しく思いました。また、就職を数年後に迎える我々にとって採用の話などが聞けたことはすごくよかったと思いました。百聞は一見にしかず、百見は一考にしかず、百考は一行にしかずは初めて聞いたのですが、すごくいい言葉だと思います。（経営 会計・情報1年）

競争に勝つことが出来たのに、非常に危険な状態だったというお言葉が衝撃的でした。競争相手が消えた市場は衰退するという考えを持ったことがなかったので驚いています。間違いなく需要はあると思うのですが、売上が落ちたという現象を聞いて、資本経済の競争について改めて考え直す機会になりました。市場で勝ち残る戦略を実行して、そこから次の次元を想定できる経営者になりたいと思いました。（経営/経営１年）

この授業のオリエンテーションで貴社の説明を聞いていた時に興味をもち、私が今勤めている居酒屋と通っている美容院で確認してみたところ”タイジ”と書いてありました。ニッチですが私たちの身近にあることに驚きました。(経営学部 経営システム学科 4年)

TAIJIは私のバイト先にあるおしぼりや皿のウォーマーメーカーだと知っていたので講義がすごく楽しみでした。すでにある技術をうまく生かしてシェアをとっていくお話は非常に面白かったです。特に印象的だったのは、「百聞は一見に如かず、百見は一考に如かず、百考は一行に如かず」です。た。いつもだらだらと生活をしている自分に言われているようでした。「常にポジティブ思考であれ」というのもよかったです。ゆでガエルのお話と、象のお話を混ぜていくのはすごくいいと思いました。(経済・経済システム1年)

**問2　今後の学びやアクションに繋げたいこと**

「誰にでもできることを誰も真似できないくらいすること」を肝に銘じて起業に向けて頑張りたいと思います。（経営・経営・3年）

差別化、お客さんの声、人との縁、この3つを大切にしていきたいと思います。今後のキャリアのすごく有利になると思います。どんな資本があっても、同じものを作っていてはだめで、新しいもの、差別化されたもの、そして消費者の声を活かせる商品開発に携わっていきたいです。また、広い眼を持ちたいと思います。（経営/会計・情報1年）

“独自性”を大切にしたいと思った。よくある大量生産系の商品ではなく、ここに目を付けるのか、という意外性のあるものばかりだった。誰も目を付けないようなことに気がつけるようになりたい。そういったものに気づくには、今ないものであれば良いのに、という考え方が大切だと思う。そういう考え方をしていこうと思う。（教育人間・人文１年）

　講義を聞いて、企業を学校、人を教師に例えることも出来ると思いました。学校も同じく教師の授業に対する思いや努力によって生徒を変え、学校すべてを変えることができると思いました。私も今から努力していきたいと思いました。（教育人間・学校教育課程1年）

授業スタッフの感想

　講義していただいている中で、私たち生徒が少しでもわかるように、興味を持つように様々なお話を組み合わせたトーク術に大変感動しました。自分も少しでも聞いている相手のことを考えて話せるように日常の中で工夫していきたいと思いました。